

GAPの取組 (団体認証)

JAおおいたGAP研究会

<問い合わせ先> JAおおいたGAP研究会事務局 TEL: 097-544-0310 (JAおおいた営農部園芸課)

JGAP

柑橘、みつば、いちご、大葉
白ねぎ、七草

<基本情報>

所在地：大分県大分市

構成戸数：78戸

<経営概要>

経営面積：99.7ha (柑橘：7.9ha, みつば：5.6ha, いちご：7.2ha, 大葉：12.4ha, 白ねぎ：58.9ha, 七草：7.7ha)

<取組方針>

①本人が諦めない限り、最後まで付き合う！②誰(高齢者)でも取り組むことが出来るよう、工夫を重ねる！



平成29年度未来につながる
持続可能な農業推進コンクール
生産局長賞受賞



<GAPの取得のきっかけ>

- 大分県内で発生した残留農薬事故からの立ち直りと販路拡大のため、大分県と連携してJGAP団体認証に向けた準備開始(平成23(2011)年6月)

<GAP認証取得で苦労したこと>

【認証取得にあたって】

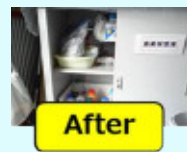
- ◆ 取組意思のある高齢者にわかりやすいマニュアルの提示、記帳しやすい様式の必要性等、課題が浮き彫りに。

【認証取得後】

- ◆ 3品目が団体認証を取得 → 審査認証費用を抑えられないか。

【生じた課題への対応】

- ◆ マニュアルは、図を多用、文字を大きくするなど高齢者へ配慮。
- ◆ 生産者が慣れたやり方、様式をできる限り活かす。
- ◆ 農場・倉庫等の片づけと整理整頓！

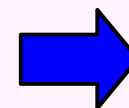


- ◆ いちご、みつば、柑橘の3団体を統一し、団体事務局の運営効率化

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 柑橘は、GAP認証を取得し団体として取引先と協議することにより **高単価商品としての販路拡大**(糖度等の品質基準も有り)や西日本全体へ **販売エリアが拡大**。
- ◆ 出荷規格の交渉もより良い条件で進めることが可能となり、いちごについては規格が簡素化し、生産者の **パック詰め作業効率が2倍以上に効率化**

(平成24(2012)年度：7,840g/時間 ⇒ 平成25(2013)年度：15,000g/時間)



【従来の2段階詰めパック】

【1段階詰めパック】

- ◆ いちご、みつば、柑橘の3団体を統一して団体認証を取得することにより、団体事務局の審査費用は **45万円→15万円**、審査対象農場数の削減により **農場毎に負担する審査費用は約4万円→2万円に削減**
- ◆ **青果物であれば、どの品目でも追加・拡大できる体制を確立！**

(29年度に3品目追加取得。30年度はさらに2品目の追加取得に向け、取り組み中)